

北海道滝川西高等学校のグランドデザイン（案）

滝川市 ・ ・ 国際田園都市【TAKIKAWA】を目指す、中空知における産業の中心都市

地域の願いに応える

- ① 地域に開かれた学校
- ② 地域に信頼される学校
- ③ 地域に貢献できる学校
- ④ 文武両道の学校



生徒・保護者の願いに応える

- ① 進学に対応した普通教育
- ② 専門的なビジネス教育
- ③ キャリア教育の充実
- ④ 個に応じた進路実現

【本校のめざす生徒像】

【校 訓】 志ある者 事ついに成る

【めざす生徒像】 礼儀と規律を重んじ、文武両道に励み、志の達成に努める生徒

地域連携

滝川市連携

姉妹校等
交流連携

- ① 学科の特色を生かした学びの推進
＜アクティブラーニング型授業による学習形態＞
- ② グローバル人材の育成（SGH-a 指定）
- ③ 英語教育や国際理解教育の充実
- ④ キャリア教育の充実（社会人基礎力）
- ⑤ 部活動で鍛える（高い加入率）

高大連携

小・中学校連携

高等養護学校
との連携

進 学

就 職

部活動

資格取得

人財育成

＜取り組みの具体化＞

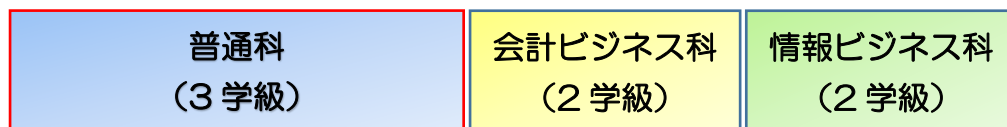
＜情報マネジメント科＞

【キーワード】・豊かな人間性・問題解決能力・コミュニケーション能力
・グローバル社会への対応・地域創生・ビジネス教育の専門性

- ① 情報に関する基礎的な知識や技術を基盤とした情報活用能力の育成
- ② ビジネス社会へのつながりを意識した学習でコミュニケーション能力の育成
- ③ マーケティング情報・会計情報・ビジネス情報等をグローバルスタンダードでマネジメントする力の育成
- ④ 将来の生活に役立つ知識や技術を習得し、資格取得に向けた教育の充実
- ⑤ 進学にも就職にも対応したカリキュラムと進路実現への支援体制の充実

滝川西高校の学科構成

<H29まで>



<H30から>



これまで、

入学段階で、普通科への出願

商業科（大学科）への出願・・・会計中心に学ぶか情報中心に学ぶかの選択

課題：中学生が適性を判断するのは難しい。

対応：学科の特徴として、会計中心・情報中心での学習活動を通して生徒を伸ばす教育。入学後は生徒の適性興味関心進路に応じて、学科共通に学べる学習内容も備えながら実践的な教育活動を展開。現在は、問題解決型の学習や創造性を身につけるための学習内容をどんどん取り入れた学習形態となっている。

<ビジネスアイデアコンテスト・学校賞 日経ストックリーグ・最終選考>

平成 30 年度から

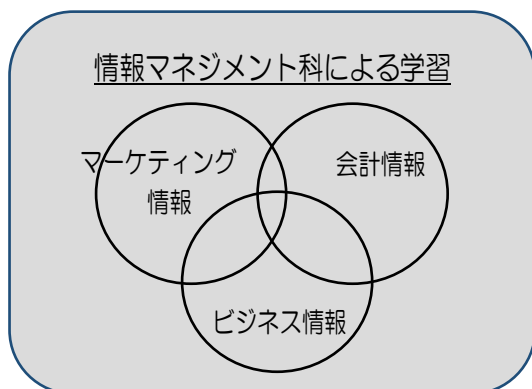
入学段階で、普通科への出願

商業科（大学科）への出願・・・情報マネジメント科で学ぶ

ビジネス教育の基礎基本を大切にした教育活動。

これからの時代を生き抜く力は、創造的な力や複数の情報を駆使して新しい価値を生み出す力が大切。

現状をベースに深化



マーケティング情報、会計情報、ビジネス情報などを整理統合し、ビジネス上における様々な資源や資産・リスクなどを管理し、経営上の効果を最適化するビジネス手法がマネジメントという言葉に含まれる。現在の学科においても同様の学びを進めており、学習実態に合致した学科名となる。

生徒の選択科目によって、会計・情報の高度な資格取得にも対応することができる。